

「小さな集落、大きな成果 ～徹底した獣害対策で営農意欲UP～」 菰野町切畑区

集落（地区）の概要

- ・所在地：三重郡菰野町大字切畑
- ・戸数：12戸
- ・農地の状況：約7ha
- ・主な作物：水稲、マコモタケ
- ・主な加害鳥獣：ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ



国道306号より西に4km
(八風キャンプ場の近く)

活動のようす



以前の獣害被害状況、集落での獣害対策活動周知



集落一体となった柵設置、緩衝帯整備



潜り込み防止対策(柵下部へ電柵を設置)



マコモオーナー制度(まこもクラブHPより)

取組内容

- ・集落の居住者28名のうち農業者7名で、農業者の平均年齢70歳と過疎化・高齢化が進みつつある集落で、平成28年から3年間で地域住民が一体となって約7haの農地に1,741mの防護柵を設置し、ほぼ野生鳥獣による被害はなくなった。防護柵は5mmのWMや堅牢な門扉を設置したことで、破損が少なく補修作業が軽減している。
- ・集落の農業者が狩猟免許を取得し、設置した防護柵周辺での捕獲数が増加するなど、より防護効果が高まるという相乗効果もみられている。
- ・防護柵内でオーナー制度を導入して菰野町特産のマコモタケを栽培し、県外からも収穫体験者が訪れるなど地域の魅力発信に取り組んでいる。